

農業の未来を拓く！新規就農者



仲島 勉佑さん(38)

【園地所在地】平川市町居
【作付状況】りんご・1.4ha
【就農年】2020年
【きっかけ】弘前市出身で、

専門学校への進学を機に仙台へ行き、卒業後は同地を拠点に

農業に大きな夢と希望を抱いて就農した人にスポットを当て、紹介します。農業の未来を切り拓く就農者を弘農グループは応援します。

【現在】縁ゆかりもない私を、地域の皆様が快く受け入れてくれたおかげで今日があります。りんご生産についてのアドバイスや地域での暮らしなど、良くしていただき大変感謝しています。また、音楽活動は休んでいた時期もありましたが、地域のりんご生産者の先輩と「K2」というユニットを組み、各種イベントに参加しています。りんご生産者と一緒にあります。

【2015年】様々な活動や環境を再構築するために弘前へ戻り、音楽活動を継続しながら、りんご関連の事業所で働き始めました。そこでは栽培管理に従事し、仕事をしていく中で、自分でりんご栽培を行っていきたいという気持ちが芽生えていました。そのような折、知人の紹介で平川市のりんご園を継承(借用)することになり、住まいも平川市に移し、りんご生産者としてスタートしました。

【夢・展望】りんご生産・農業経営や音楽活動を通して「地域を盛り上げていきたい」という思いが常にあります。私の活動を通じて、そのライフスタイルに共感し、農業へ興味を持つ方が一人でも増えてもらえると嬉しいです。そのためにも、りんご生産・農業経営での基盤構築が必要と考え、将来的な規模拡大・法人化・雇用創出に向けて動いています。

【座右の銘】繰り返すことに疲れ果てた藍色に染まる午後も愛そつ命の果てまでこの日々を「自分が作詞した歌の一節です。仕事や生活でも、多分一生続くであろう漫然と繰り返す日々や、見えないプレッシャーを抱える中で、一日が折り返す物憂げな午後を迎えて、自分を信じて前向きに一生懸命に生きています。こうという思いがこの歌詞に込められています。

改植・新植時の資材購入費に、
最大10万円を助成します。



りんご高密植栽培導入 弘農応援事業

弘農弘前中央青果及び津軽りんご市場では、令和9年度に、国の果樹経営支援対策事業を活用し、りんご超高密植栽培による改植・新植を実施する生産者に、10a当たり10万円までの支援をします。



高密植栽培のメリット

- ・早期多収
- ・省力作業
- ・栽培管理のしやすさ

概算経費 約270万円/10a

(苗木代 90万円、トレリス設置 150万円、資材費 30万円)
※ 上記経費は、弘農総研試験圃地の事例による参考額です。
また、国の果樹経営支援対策事業により、改植・新植事業及び未収益期間への補助金が見込まれます(R7現在)。

応援内容

① 実施年度: 令和9年度定植実施(令和8年度に国、果樹経営支援対策事業の申請が必要になります。)

② 対象品目: りんご超高密植(トルスピンドル)栽培

③ 助成内容: 必要経費のうち弘農物流から購入した資材(主幹ポール)費に対して一部を助成します。

助成金は 10a 当たり10万円以内(対象面積は、地続きで2a以上10aまで)

④ 苗木のあせん: 苗木を自己調達できない方には、当方でまとめて確保し、あせんします。

対象者

① 弘農弘前中央青果又は津軽りんご市場にりんごの出荷実績(令和5年度以降)がある生産者。

ただし、新規就農をする場合は出荷実績の有無を問わず出荷者登録により対象とします。

② 青森県内に在住する生産者

申込方法

① 助成金を希望する方は、所定の申込書により令和8年3月末日までに、弘農弘前中央青果又は津軽りんご市場の担当者に申込してください。

② 全体で20人程度の予算枠を確保しておりますが、予算枠を超えた場合は、先着順となります。

お問い合わせ先

○応援事業について 弘農弘前中央青果 りんご部 高密植応援事業担当まで TEL:0172-27-5511

津軽りんご市場 営業部 高密植応援事業担当まで TEL:0172-72-1211

○高密植の栽培管理について 弘農総合研究開発 業務部 高密植栽培担当まで TEL:0172-29-4184

葉菜会(中嶋秀輝会長)「大紅栄」現地検討会及び試食会を10月10日、弘前市石川のヤマセ農園園地において開催しました。「大紅栄」は、弘農オリジナル「つがりあんアップル」の1品種で、外観は深紅色で円形、「世界一」に匹敵するほどの大玉品種であり、多汁で爽やかな甘みが特徴です。りんご生産者約30名が参加した検討会では、園主の工藤浩政さんから「当園では、干ばつによる肥大不良、9月の2回あつた強風で落果、傷の被害が多い状況です。しかし、試食用で測った糖度は15度と高く、食味は良好に仕上がりました」と状況説明があり、今年の仕上がりを確認しました。中嶋会長はこれ

からの収穫、出荷について「収穫に向けた作業や、収穫、選果を丁寧にかつ徹底して行い、より良い『大紅栄』を出荷していただきたいです」と話していました。「大紅栄」は弘農津軽りんご市場とともに10月15日(水)から21日(火)の日程でコーナー販売を行います。

大紅栄現地検討会開催

「大紅栄」の生育状況を確認する参加者

「句」車力ごぼう

ごぼうの収穫に励む牛潟黎明出荷組合の皆さん

ごぼうとして市場に出荷されます。収穫作業は10月初旬から11月にかけて最盛期を迎える、降雪前まで続く予定です。

美味しい調理法は、当社ホームページの、旬の食材でつくるおすすめレシピ「ひろかごん」で公開しておりますので、是非ともご覧ください。

旬を迎えたごぼうの収穫に、当社オリジナル「つがりあん」シャインマスカットは、商品化しています。目標とする「つがりあん」ブランドの厳しい出荷基準をクリアし、高単価で取引されたいと思います」と話しています。

収穫されたごぼうは土付きのまま、あるいは水洗い選果された「洗い

ごぼう」として市場に出荷されます。収穫作業は10月初旬から11月にかけて最盛期を迎える、降雪前まで続く予定です。

美しい調理法は、当社ホームページの、旬の食材でつくるおすすめレシピ「ひろかごん」で公開しておりますので、是非ともご覧ください。

旬を迎えたごぼうの収穫に、当社オリジナル「つがりあん」シャインマスカットは、商品化しています。目標とする「つがりあん」ブランドの厳しい出荷基準をクリアし、高単価で取引されたいと思います」と話しています。

収穫されたごぼうは土付きのまま、あるいは水洗い選果された「洗い

ごぼう」として市場に出荷されます。収穫作業は10月初旬から11月にかけて最盛期を迎える、降雪前まで続く予定です。